

平成 26 年 11 月 3 日

かながわ環境カウンセラー協議会
環境教育委員 片野真琴

平成 26 年度環境教育インストラクター フォローアップセミナー 報告書

標題の件につき、下記の通りご報告いたします。

記

1. 開催日 平成 26 年 10 月 11 日（土） 13:00～16:30
2. 開催会場 横浜市西区社会福祉協議会（フクシア） 多目的研修室
3. 参加者 受講者 5 名：保坂哲夫、奈良谷裕昭、中村修三、齋藤明郎、片野真琴
講師・アドバイザー：環境教育委員 高橋弘二、大竹順之、三島通世、大野昌美、河野健三、
田中真次、池田浩
4. 開催目的 環境教育インストラクター養成セミナー受講者へのアフターフォローとして、
受講者が抱えている課題に対してのアドバイス、あるいは新たなセミナーの
ヒントを提供すること。
5. 内容要旨
 - (1) 自己紹介
参加者、環境教育委員、講師の順で自己紹介を行った。氏名と一言と一人 1~2 分程度で話し、最後に事前にくじで引いた事項についても話した。
 - (2) 自然教育実践事例
今回は、野外だけではなく室内でもできる自然教育を主題として、①植物編と②動物編の 2 つの講座をそれぞれ 45 分間行った。講師はそれぞれ実際に自然教育を行っている環境教育委員が講座を行った。
 - (3) 交流会
飲み物やお茶菓子を囲み、一人一人の相談や経験談を伺った。それぞれの項目について、参加者同士での意見交換や、環境教育委員よりアドバイスなどを行った。
6. 講座詳細
 - ① 植物編
室内から一歩外へ出て、会場から 1, 2 分の街路樹のある通りまで出かけた。街路樹の「イチヨウ」「クスノキ」「アカメガシワ」について大河ドラマや歴史・文化に関連付けて講義を行った。また、植物の生き延びる知恵を通して、それぞれの形態の説明をした。身近な植物でも様々な観点から話をすることによって話を膨らませることができることを学ぶことができる講座となった。
 - ② 動物編
最初に写真で擬態した昆虫を見つけるアイスブレイクを行った。受講者も真剣に昆虫を探していた。その後、動物当てゲームや生態系と動物の係わりについて学べるゲームを行った。実際に

子供たちに行っているゲームを体験することによって、子供たちを対象にした場合の注意事項なども盛り込まれ、実践する際に役に立つ室内でもできる自然教育の手本となった。

7. アンケート結果

今回の講座・交流会についてすべての受講者がすぐに役に立つ、将来役に立つと回答しており、参加者にも有意義な時間になったことが伺えた。また、受講者のニーズとしては、自然観察会のような自然環境系の講座に多くのニーズがある結果となった。

8. 所感

今回は、初めて屋外での活動も取り入れ、自然観察会や室内でもできる自然教室ということで、室内の自然教育も行った。今までのセミナーではない取組みであったが、受講者にも好評であったので今後も自然教育の分野を含めてフォローアップセミナーを企画していきたい。今回は参加者が少なかったが、その分一人ひとりの話をじっくり聞き、参加者全員で話し合うことができた。今後とも、集客は課題と考えている。

以上



一段目左右：植物編
二段目左：動物編
二段目右：交流会

